



2008年8月23日(土)



丹後半島民家シンポジウム 民家が語る 里山の価値

丹後の古民家には里山をうまく活かしてきた知恵と技術がたくさん詰まっています。建築や森林などの面からこれまで行ってきた里山の民家についての研究成果を紹介するとともに、古民家を利用した活動をしている人たちとともに、将来のあり方についても議論します。

どなたでも参加して頂けます



プログラム

午後0:30 開場

午後1:15 開会 司会進行 佐久間大輔 大阪市立自然史博物館学芸員

▼開会挨拶と地球研プロ近畿班概要説明

大住克博 (独) 森林総合研究所関西支所 主任研究員 (プロジェクト近畿班リーダー)

▼基調講演 丹後民家の文化的価値

大場 修 京都府立大学生命環境学部 環境デザイン学科 教授

▼話題提供

話題1 上世屋での民家解体からわかったこと

奥 敬一 (独) 森林総合研究所関西支所 主任研究員

話題2 笹葺き民家再生の過程

石井規雄 立命館大学経営学部プロジェクト団体丹後村おこし開発チーム、笹葺きパートナーズ

話題3 民家を拠点とした世屋の自然・文化の活用

梅本悦二 (特) 里山ネットワーク世屋 理事、童仙建築工房

休憩

▼コメンテーター

国内の民家遺産の保全活用状況の観点から

黒田乃生 筑波大学大学院人間総合科学 研究科 世界遺産専攻 准教授

民家再生を共に行った職人の目から

山田雅史 山城萱葺屋根工事 代表

伝統的集落に生活することの意味

井之本 泰 京都府立丹後郷土資料館 資料課長

▼ディスカッション

コーディネーター

深町加津枝 京都府立大学生命環境学部 環境デザイン学科准教授

▼総括

湯本貴和 総合地球環境学研究所 教授

午後4:30 閉会予定



主催 (独) 森林総合研究所関西支所、

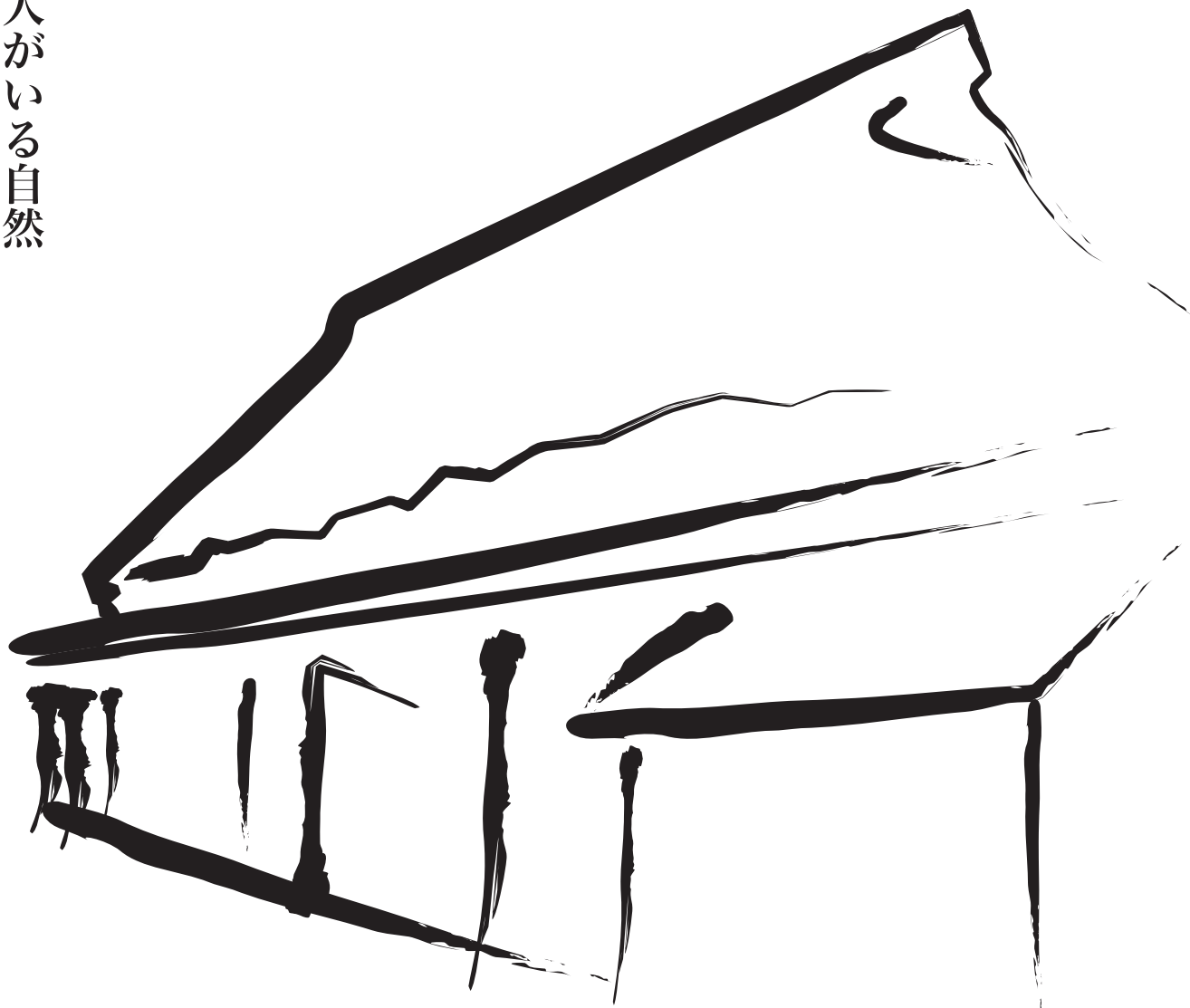
総合地球環境学研究所「日本列島における人間-自然相互関係の歴史的・文化的検討」プロジェクト

共催 NPO法人里山ネットワーク世屋、笹葺きパートナーズ



後援 京都府丹後広域振興局、宮津市

人がいる自然



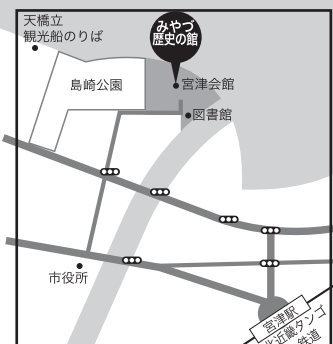
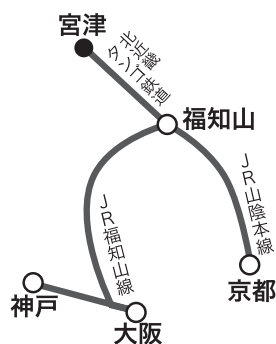
丹後半島民家シンポジウム

民家が語る里山の価値

2008年8月23日(土) 午後1時15分～午後4時30分

会場 みやづ歴史の館 文化ホール 京都府宮津市字鶴賀2164 0772-20-3390

アクセス 北近畿タンゴ鉄道宮津駅から徒歩8分



※ 駐車スペースに限りがありますので、施設を使用する際には、「パーキングはままち」など近隣の他の駐車場をご利用ください。

※ 「パーキングはままち」を利用された場合、駐車料金が割引になります。みやづ歴史の館窓口の「駐車券認証機」に駐車券を通して下さい。

入場無料 申込不要

問い合わせ先

(独) 森林総合研究所 関西支所 担当/奥 敬一

TEL 075(366)9925 <風致林研究室直通>

FAX 075(611)1207

E-MAIL hoku@ffpri.affrc.go.jp